

研修 評価

研修名	小論文・レポート・報告書の書き方				
領 域	専門性の開発能力	会場	新潟県看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル II～IV 募集数(80 人)応募数(45 人)参加数(45 人)会員数(45 人)非会員数(0 人)				
日 時	令和 7 年 5 月 26 日(月曜日) 10:00 ～ 16:00				
ねらい(目標)	臨床現場での小論文・レポート・報告書を指導するにあたり、支援者が修得すべき指導のポイントについて学ぶ				
講 師	水戸 美津子 聖徳大学学長補佐				
内容・方法	○講義内容 ・文章を書くための心得 ・小論文の読み方 ・書き方の基本 ・文献の活用と書き方 ・後輩への指導のポイント ○研修方法 講義及び演習				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度(できた、ほぼできた)80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標(知識技術)の習得度(できた、ほぼできた)80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 45 名 56% 【達成・未達成】 ○アンケート結果(回収率 60%) ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 96% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・分かりやすく説明してもらえたので、自分自身のレポート添削ができ、学びの共有もできた。実践に行かせそう。 ・文を書くことをここまで噛み砕いて指導していただけたことがなかったので、大変参考になりました。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・アンケートから確認すると、参加された方々は研修での目標達成はできており、研修に参加して今後活かせる学びを多く得ていた。 - 参加が多ければ、目標はさらに達成できる研修である。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について ・研修内容は、有意義な学びを得ることができたが、参加人数が少なく残念であった。 ・参加が増えるように、開催時期・開催に対するアナウンス等を工夫する必要があると考える。				
課 題	○参加が増えるような工夫をする				
担当者	教育委員				